

エラーの原因と処置方法

エラーナンバー	原因	処置方法
[103] [203]	外気温が低いため、真空引きに時間がかかりすぎている	使用している環境温度を上げて再開してください→ 確認 ・暖かい屋内での作業をおすすめします ※自動車の排気ガスは、屋外に排出してください
	本機に漏れが発生しているため、真空引きに時間がかかりすぎている	本機のカブラ接続部などのゆるみ等を直して再開してください→ 確認 ※症状が改善できない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください
	カーエアコンに漏れが発生しているため、真空引きに時間がかかりすぎている	カーエアコンの漏れを確認してください(漏れの可能性のある車への充填はしない) →「中止」ボタンを押してエラー解除し、作業を中断してください
	真空ポンプオイルが不足している	真空ポンプオイルを補充し、再開してください→ 確認
[106] [206]	装置初期化の際、計量ゼロ点登録ができない	ロードセルの修理、または交換が必要です ※お買い求めの販売店にご連絡ください
[113] [213]	フィルター使用時間経過	フィルターを交換し、管理モードのフィルター使用時間のリセットを行ってください
[114] [214]	カブラの接続ミスにより、充填ができない	カブラの接続を確認してください→ 確認
	充填時にエンジンがかかっている(自動コース)	エンジンを切り、再開してください→ 確認
	外気温が低いため、タンク内圧が低く充填ができない	「中止」ボタンを押してエラー解除し、作業を中断してください ・充填前の再生時間を長く設定すると、タンク内圧が上がり充填がスムーズになります
	計量センサーのズレまたは故障により、充填が終わらない	計量センサーの修理、または交換が必要です ※お買い求めの販売店にご連絡ください
[115] [215]	本機に漏れが発生しているため、回収に時間がかかりすぎている	本機のカブラ接続部などのゆるみ等を直して再開してください→ 確認 ・タンクにエアが混入した可能性があるため、タンク内圧を確認し、必要に応じてエアパージをしてください ※症状が改善できない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください
[116] [216]	作業中カーエアコン側が異常高圧になった	ホース内が高圧のため、この状態ではホースをはずさないでください ※エンジンを止めるとホース内の圧力が下がり、安全な圧力(2.5MPa以下)になりましたら、「確認」ボタンを押してホースをはずし作業を中断してください
[117] [217]	高圧センサーの故障により圧力検出ができない	高圧センサーの修理、または交換が必要です ※お買い求めの販売店にご連絡ください
[118] [218]	低圧センサーの故障により圧力検出ができない	低圧センサーの修理、または交換が必要です ※お買い求めの販売店にご連絡ください
[120] [220]	PAG缶が接続されていない、または空	未使用のPAG缶を取り付けてください
[121] [221]	POE缶が接続されていない、または空	未使用のPOE缶を取り付けてください
[122] [222]	PAGボトルが空	PAGボトルにオイルを補充してください
[123] [223]	POEボトルが空	POEボトルにオイルを補充してください
[124] [224]	真空引き後のリークチェックで、漏れを検出した	カーエアコンの漏れを確認してください(漏れの可能性のある車への充填はしない) →「中止」ボタンを押してエラー解除し、作業を中断してください 「確認」ボタンを押すとそのまま充填工程に移ります
[126] [226]	ホースクリーニングで、ホルダーにホースが接続されていない	ホルダーにホースを接続してください→ 確認
[127] [227]	真空ポンプオイル使用時間経過	真空ポンプオイルを交換し、管理メニューの累計から真空ポンプ使用時間のリセットを行ってください
[128] [228]	充填開始時にカーエアコン側が十分に真空でない	十分に真空引きをおこなってから、充填作業に移ってください
[129] [229]	タンク圧センサーの故障により圧力が検出できない	タンク圧センサーの修理、または交換が必要です ※お買い求めの販売店にご連絡ください
[140] [240]	タンク内が異常高圧になった	タンクにエアが混入した可能性があるため、タンク内圧を確認し、必要に応じてエアパージを行ってください
	タンク上部のコックが閉まっているため、回収ができない	タンク上部のコックを開き、作業をやり直してください
[141] [241]	タンク満タンになった	着脱容器接続キット(オプション)で内部タンクの回収を行ってください ※着脱容器接続キットがない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください
[142] [242]	タンク残量が足りないため、充填工程ができない	フロン補充をしてください 「確認」ボタンでエラー解除し、充填工程以外を行ってください

※エラーナンバーは、上段(100番台)がR134a系統で下段(200番台)がR1234yf系統でのエラーです

続きは裏面へ

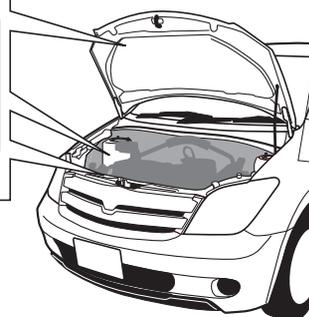
エラーの原因と処置方法

エラーナンバー	原因	処置方法
[143] [243]	着脱容器満タン検出 着脱容器フロートケーブルが未接続	フロン補充をしてください 着脱容器フロートケーブルを接続してください
[144] [244]	内部タンク回収に時間がかかりすぎている	ホースの接続と、タンク上部コックが閉まっているかを確認してください
[145] [245]	内部タンク回収時に着脱容器からの逆流がおきている	タンク上部コックが閉まっているかを確認してください
[147] [247]	コンプレッサーが高温になりすぎている	しばらく放置して本体を冷やしてください ※症状が改善できない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください
[931]	プリンターのロール紙がない プリンターカバーが開いている	ロール紙を入れて再開する→ 確認 ※用紙がない場合は「中止」ボタンを押すと、プリントをせずに作業を終了します プリンターカバーを閉めて再開する→ 確認
[933] [934]	プリンターの故障	プリンターの修理、交換が必要です お買い求めの販売店までご連絡ください ※「中止」ボタンを押すと、プリントせずに作業を終了します
[950]~ [956]	プリントロゴまたはテキストデータの破損やメモリーカードの故障等	プリントロゴ又はテキストデータを確認してください メモリーカードを交換しても改善しない場合は、販売店までご連絡ください
[960] [961]	内部基盤の通信異常が発生	再起動を行い、再発する場合はお求めの販売店にご連絡ください

※エラーナンバーは、上段(100番台)がR134a系統で下段(200番台)がR1234yf系統でのエラーです

作業を開始する前に、車のエアコンオイルの確認をしてください

ボンネット裏などのラベルを確認し、エアコンオイルの種類を確認してください。
前回作業した車と異なるオイルの車で作業する場合は、作業前に必ずホースクリーニングを行ってください。



エアコンオイルの種類について

ハイブリッド車(HV)や電気自動車(EV)は電動コンプレッサーを搭載し、モーターの冷却にフロンガスを使用しています。そのためエアコンオイルには、絶縁性に優れたPOEが使われています。一般のガソリン・ディーゼル車のエアコンオイルに使われているPAGがPOEに混ざると絶縁性が損なわれ、モーターの漏電を起こす危険性があります。下記表の分類に従ってオイルの種類を見分けてください。

また、エアコンオイルはガス専用のオイルがありますので注意してください。

エアコン オイル種類	PAG(一般用) (ポリアルキレングリコール)	POE(HV・EV用) (ポリオールエステル)
トヨタなど	ND-OIL8 (R134a用) ND-OIL12 (R1234yf用)	ND-OIL11
ホンダ	SP-10	SE-10Y

注意

一部のハイブリッド車では、PAGを使用しているものがあります。必ずボンネット裏などのラベルからエアコンオイルの種類を確認してから作業を行ってください。